

事務事業評価シート 平成 27 年度事後評価・決算

平成 29 年 2 月 22 日時点

事務事業名				コード	30100	南堀之内バイパス整備事業	予算科目	会計	款	項	目	事業種別	担当班	土木班
基本施策				18	安全で快適な道路の整備	根拠法令	一般	8	2	3		☒ 主な事業		
施策の展開				33	主要道路の整備	戦略事業	160	南堀之内バイパスの整備				☐ 国土強靱化地域計画		
施策の展開						戦略事業						☒ 新市建設計画		
												☒ 定住自立圏構想		
												☒ 主要事業		

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない		
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 19 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで		国道126号線から、(主)大栄・栗源・干潟線までを結ぶ本路線を整備することで、広域的なネットワークが確立され、首都圏へのアクセスも多様化するなど地域の産業振興の発展と生活基盤の活性化が図られる。		
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化		⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
【開始の経緯】 ① 産業振興の発展 ② 通勤時間帯の渋滞緩和・利便性の向上		【課題】 用地買収が難航し、工事発注が困難		早期完了を望む要望が多数有

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(27年度の決算)		単位:千円	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
1.委託費	0		千円	5,859	1,391	0	0	5,292
2.工事費	0		千円	20,300	74,173	0	0	0
3.用地費	0		千円	3,318	2,314	0	0	9,402
4.補償費	0		千円	3,238	0	0	0	1,457
	0		千円					
② 特定財源の内訳(27年度の決算)		単位:千円	事業費計 (A)					
1.国庫支出金	0		千円	32,715	77,878	0	0	16,151
2.都道府県支出金	0		千円	8,812	39,028			
3.地方債	0		千円	22,200	33,100			11,700
4.その他	0		千円	386				
			千円	1,317	5,750	0	0	4,451

前年度増減理由	
---------	--

従事職員数	常時	2人	最大		人	×		日	=	延べ	0人
-------	----	----	----	--	---	---	--	---	---	----	----

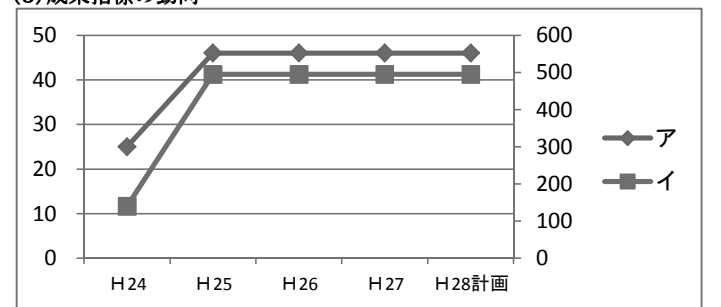
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	27年度実績(27年度に行った主な活動)								
	用地交渉		ア 用地買収率(面積ベース)	%	51.0	86.0	86.0	86.0	100.0
			イ 整備延長	m	140	495	0	0	0
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	対象意図								
	利用者(市民)		ア 工事進捗率	%	25.0	46.0	46.0	46.0	46.0
	安全・安心かつ円滑な道路交通の確保が図れる								
	対 象 意 図		イ 道路整備済延長	m	140.0	495.0	495.0	495.0	495.0
	対 象 意 図								
	市道								
	安全性の向上								

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果				② コスト削減優先度評価結果			
		成果向上余地				コスト比率	
		かなりある	ある程度ある			下位 1/3	中位 1/3
		ほとんどない				上位 1/3	
施策貢献度	大きい		②	評価結果	①		
	普通				②		
					③	(2)	
					④⑤		
	小さい				⑥		
					⑦⑧		
					⑨		

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況		☐ 完了	☐ 順調	☐ 概ね順調	☒ 停滞	☐ 実施困難
【コメント】 (停滞・実施困難の場合、その理由)		用地買収が難航していることから、事業が停滞している。				
② 成果の状況		成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	☐ 向上	☒ 横ばい
		成果指標イ	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上	☐ 向上	☒ 横ばい
【コメント】 (低下の場合、その理由)						
評価内容	比較	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
		24年度	25年度	26年度	27年度	28計画
	ア	25.0	21.0	0.0	0.0	0.0
	イ	140.0	355.0	0.0	0.0	0.0
③ 今年度取組事項 (今年度新たに取組む事項について記載)		時期	内容		今後の方向性	
		用地買収後	①修正設計業務委託 ②関係協議(千葉県警)		☒ 拡大 ☐ 縮小	☐ 現状維持 ☐ 廃止・休止 ☐ 見直し ☐ その他 ()
				平成29年度～	未買収地権者の要望を踏まえ、道路計画の見直しを実施。今後、再度、用地交渉を進める予定。また、次年度、買収済用地の工事発注に着手予定。	